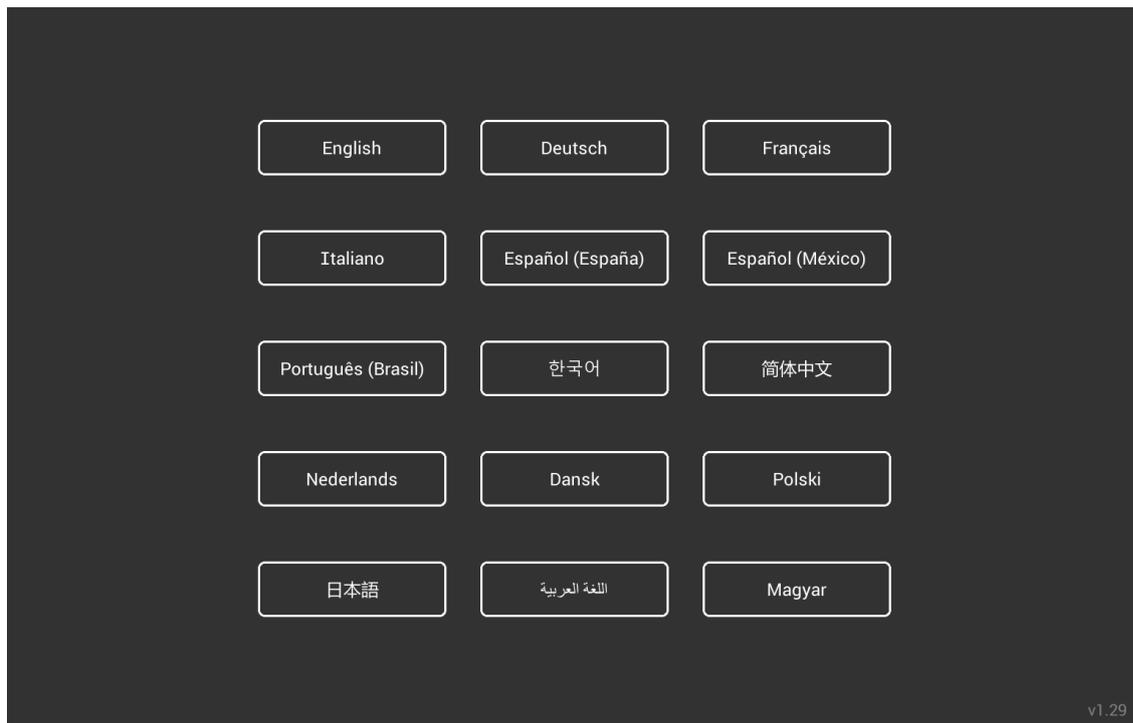


THINC-it 操作ガイド (2021年6月 日本一部改変 Ver.)

V0.95

本ガイドでは、iPad、Android タブレットおよび Windows PC 向けの THINC-it アプリケーションの操作について説明します。

図 1.



希望する言語を選択します。いつでもメインメニューからこの画面に戻って、アプリケーションの言語を変更することができます。

図 2.



注) こちらはWindowsの画面です。 iOS、Android タブレットでは「アプリのデータをリセットする」ボタンはありません。

THINC-it アプリケーションでは、1つのデバイスに複数のユーザープロフィールを設定できます。各ユーザーのデータは、それぞれのプロフィール内に保存されます。

新しいユーザーを作成するには、ボタン (A) をクリックまたはタップします。

図 3.



ユーザーの詳細を入力します。主な入力箇所のほかに、音声(操作により効果音が出ます)をオフにしたり、ユーザーに関する注記を追加したりするオプションもあります。

詳細を入力したら、[保存する] ボタン (A) をクリックまたはタップします。

注意 - デバイス (iOS, Android など) によっては、ここにレポート用のメールアドレスを指定する追加オプションが用意されていることがあります。

図 4.



こちらが THINC-it のメインメニュー画面です。画面下部に、現在選択されているユーザーの患者コードが参考として表示されています。THINC-it アプリケーションは、5 つのテストおよびモジュールで構成され、5 色のアイコンで示されています。左から順に、

1. PDQ-5D – Perceived Deficits Questionnaire for Depression 5 項目版
(思考力、記憶力、集中力などの主観的な自記式質問票)
2. “Spotter” – Choice Reaction Time Task : CRT (選択反応時間課題)
3. “Symbol Check” –n-back memory task (n バックメモリ課題)
4. “CodeBreaker” – Digit Symbol Substitution Test :DSST (数字符合置換検査)
5. “Trails” – Trail Making Test-Part B :TMT (トレイルメイキングテストパート B)

この画面で該当するアイコンをクリックまたはタップすることで、任意のテストやモジュールを起動することができます。

メニュー中央にある [テストを開始する] ボタンをクリックすると、5 つのすべてのテストやモジュールを順番に実施するフルテストが起動し、それらの結果は「テストインデックス」にまとめられます。

- ・ボタン (A) をクリックすると、ユーザー選択／作成画面に戻ります。図 2、10 を参照。
- ・ボタン (B) をクリックすると、現在選択されているユーザーのパフォーマンスレコードに移動します。図 6、7、8 を参照。
- ・ボタン (C) (地球儀アイコン) をクリックすると、言語選択メニューが開きます。図 1 を参照。
- ・ボタン (D) をクリックすると、情報メニューが開き、利用規約が表示されます。

図 5.

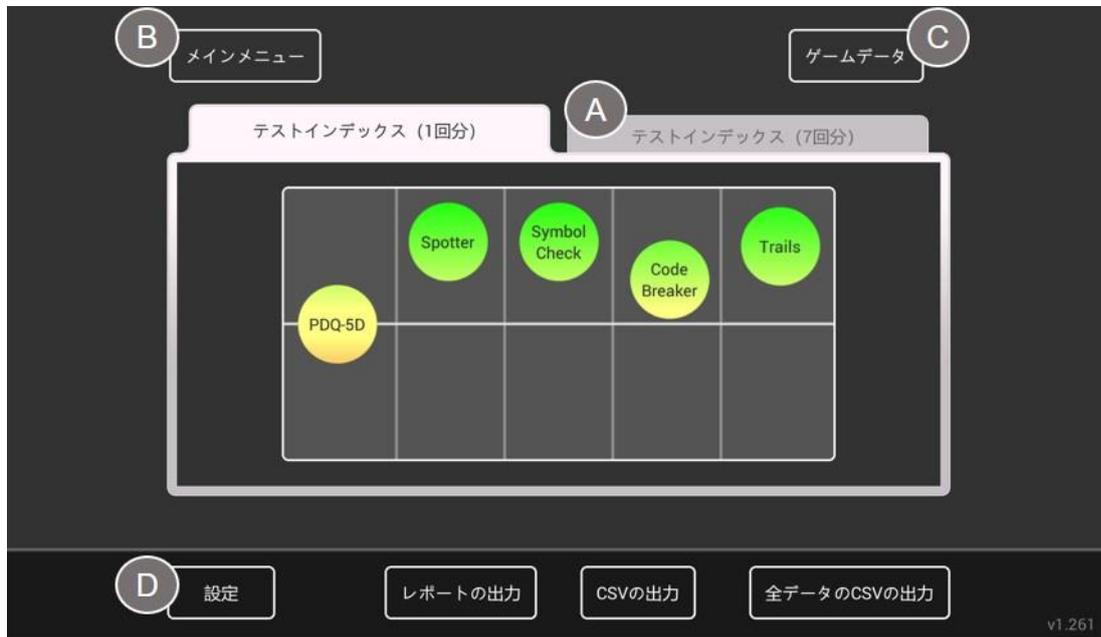


テストが終了すると（PDQ-5D を除く）、結果画面が表示されます（上の図 5 参照）。テストを個別に実施するか、一連のフルテストの一部として実施するかに関係なく、テストが終了するたびにこの画面が表示されます。

ボックス内に表示される 3 つのプライマリスコアは、繰り返し使用する際において、精一杯プレイできるようユーザーを励ますためのフィードバックです。これらのスコアは、臨床的な意味でのパフォーマンスの指標として捉えるべきものではありません。

左下の「インデックス」スコア（A）は、総合的なパフォーマンス指標です。最小値は 0、最大値は 4000 です。この値がユーザーのパフォーマンスデータレコードに記録されます。

図 6.



こちらが、ユーザーパフォーマンスデータレコードです。

中央のグラフには、直近に実施されたフルテストの 5 つのモジュールに関連するスコアが表示されます。グラフの両側にある矢印ボタンを使用して、テストスコアを遡って表示することができます（複数のデータがある場合）。

- ・ボタン (A) をクリックすると、完了した過去 7 つのフルテストが重ねて表示されるビューに切り替わります。図 7 を参照。
- ・ボタン (B) をクリックすると、メインメニューに戻ります。
- ・ボタン (C) をクリックすると、個々のテストやモジュールのパフォーマンスレコードのビューに切り替わります。図 8 を参照。
- ・ボタン (D) をクリックすると、必要に応じてユーザーの情報、注記、設定を変更または更新するためのユーザーの詳細情報インターフェイスに移動します。図 3 を参照。

図 7.



この画面には、ユーザーパフォーマンスデータレコードと、7 回分のテストのグラフが表示されます。

グラフ下にあるチェックボックスを使用して、個々のテストやモジュールのグラフデータの表示／非表示を切り替えることができます。

ボタン (A)、(B)、(C) を使用して、ユーザーのパフォーマンスデータをアプリからエクスポートできます。

注 - データエクスポートは非常に詳細であり、グラフに表示される指標スコアだけでなく、スコアに関わるすべてのデータ入力、刺激、待ち時間、エラーも含まれます。

・ボタン (A) をクリックすると、現在表示されているテストのデータを含む RTF ファイル形式のレポートがエクスポートされます。これには、グラフの画像も含まれます。

・ボタン (B) をクリックすると、現在表示されているテストやモジュールのデータを含む CSV ファイルがエクスポートされます。

・ボタン (C) をクリックすると、現在画面に表示されているデータに関係なく、現在のユーザーのプロファイル内のすべてのパフォーマンスデータを含む CSV ファイルがエクスポートされます。**警告 - データ量が非常に大きくなる可能性があります。**

図 8.



この画面には、ユーザーパフォーマンスデータレコードと個々のテストやモジュールのデータが表示されます。

ボタン (A) をクリックすると、フルテストの指標データの表示に戻ります。

この画面のエクスポートボタンの使い方は、前述の画面と同じです。

図 9.



ユーザーを変更するには、メインメニュー画面に戻り、ユーザー選択ボタン（A）をクリックまたはタップし、ユーザー選択画面に移動します。図 10 を参照。

図 10.



この画面から、ユーザーを変更したり、既存ユーザープロファイルの管理または新規ユーザープロファイルの作成を行ったりすることができます。

ここでは、1人の既存ユーザー（A）が表示されています。

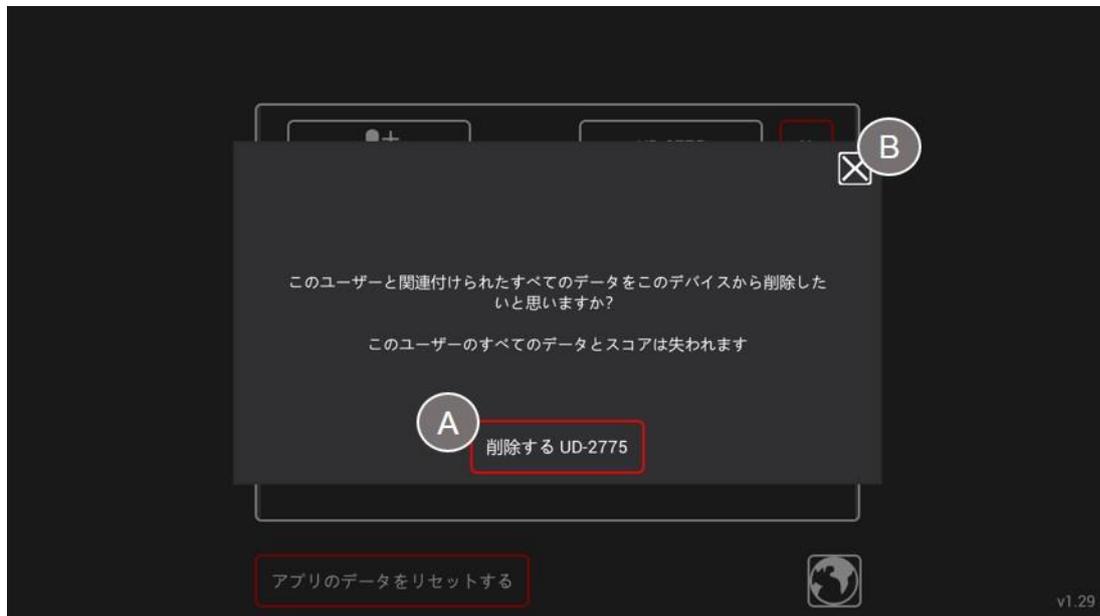
新規ユーザーを作成するには、ボタン（B）をクリックまたはタップします。

既存のユーザーを削除するには、患者コードの横にある「X」ボタン（C）をクリックします。図 11 を参照。

アプリケーション全体をリセットして、すべてのユーザープロファイルを含むすべてのデータを削除するには、ボタン（D）を使用します（Windows）。図 12 を参照。

注 - この画面から、言語メニューにもアクセスできます（E）。

図 11.



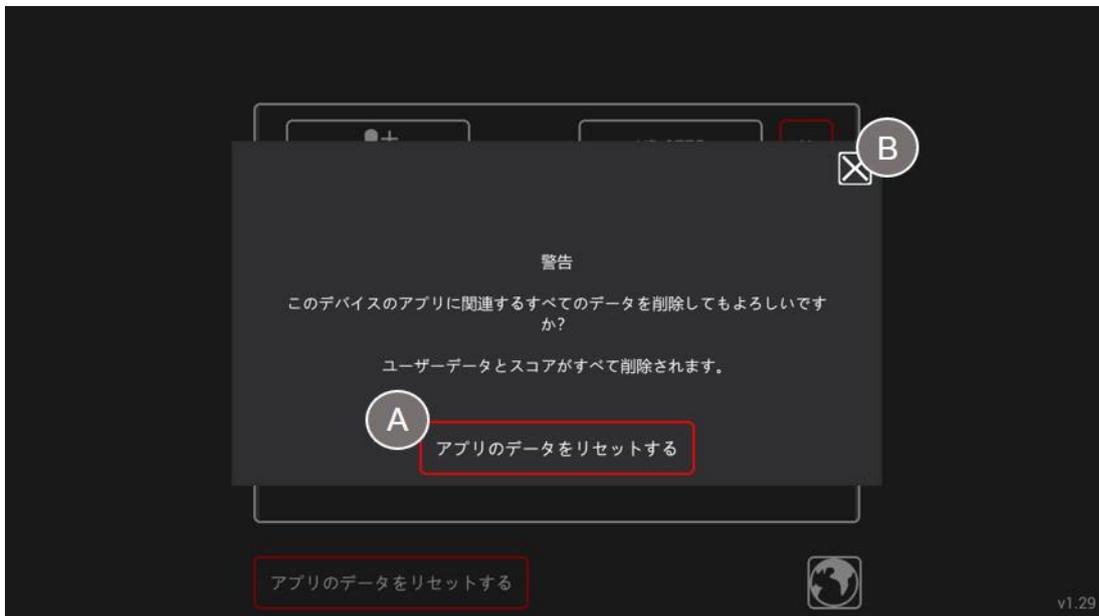
ユーザーを削除する際、上の図のような確認画面が表示されます。

ユーザープロフィールを削除すると、そのプロフィールに保存されているパフォーマンスデータもすべてアプリから削除されます。

ユーザーと関連するすべてのデータを削除しても本当に**確実に**よい場合は、ボタン (A) をクリックまたはタップします。**この操作は元に戻すことはできません。**

削除を行わない場合、または誤ってこの画面にアクセスした場合は、閉じる「X」ボタン (B) をクリックまたはタップすると、ユーザーデータおよびプロフィールはそのまま残ります。

図 12.



Windows PC におけるデータリセット方法

[アプリのデータをリセットする] ボタンをクリックまたはタップすると、上の図のような確認画面が表示されます。

アプリケーションデータをリセットすると (A)、すべてのユーザープロファイル、データおよび基本設定がアプリから削除され、実質的にデフォルトの状態にリセットされます。

注意：この操作を確定すると、すべてのデータが失われます！

この機能は主として、アプリをアンインストールする前に、マシンのすべてのデータを消去するための機能です。

最後の手段として、破損したデータまたは拒否されたデータを消去するためにも使用できます。

いずれの場合も、現在のすべてのデータがエクスポートされ、外部に保存されていない限り、この操作を行うことはお勧めできません。

削除を行わない場合、または誤ってこの画面にアクセスした場合は、閉じる「X」ボタン (B) をクリックまたはタップすると、アプリのデータはそのまま残ります。